

社協ボランティア

(NO.6)

情報誌

平成 22 年 3 月 25 日 発行
西和賀町社会福祉協議会
西和賀町ボランティアセンター
西和賀町川尻 40-73-82
TEL 84-2161 FAX 82-3572

西和賀町スノーバスターズ 岩手県日本文化賞受賞

二月二十六日(金)一関文化センターで第二十七回岩手県日文化賞贈呈式が行われました。この賞は、福祉や芸術・文化などの分野で輝かしい功績を残した団体や個人に贈られるもので、贈呈式には黒淵時男西和賀町スノーバスターズ会長が出席しました。



会長のコメント:西和賀のも割は高齢者世帯で、これから益々活動が重要視されてくる。長く続けながら高齢者の生活を支援していきたい。



力強い誓いの言葉を述べる
西高の瀬川然さん

今年度の出動式は、一月十七日(日)午前九時から「志賀来ドーム」で行われました。

バスターズ会員や、西和賀高校生・中学生・町外から来ていただいたボランティアの方々と総勢二百五十名で出動式を行いました。スノーバスターズ会長が、「若い世代の皆さんの力が必要だ」と挨拶し、高橋智副町長、西和賀町社会福祉協議会会長から激励を受けました。



活動は 20 班に分かれて行いました

今年の対象世帯は百十九世帯、ボランティア登録者が三百十七名。町内二十班で活動し、町外からのボランティアや、西和賀高校生・中学生の生徒さん達にも積極的に参加していただき、対象世帯の方々が「孫のような人たちと話ができてうれしい」、「部屋の中が明るくなって、大変助かった」という感想をたくさんいただきました。

これからもバスターズ活動への協力をよろしく願います。



バスターズのロゴが新しくなりました!!

西和賀町

福祉作文コンクール

今年度で四回目となる西和賀町福祉作文コンクール。毎年、町内の小・中学生・高校生の児童、生徒さんから作文を応募していただき、部門ごとに審査を行いました。

今年度は、五十七作品の応募がありました。家族の一員としての思い、地域行事等に参加して感じたこと、体験を通して心を動かされたことなどが表現されていました。どの作品も、感情豊かに色々々な思いが綴られておりました。

各部門の最優秀賞・優秀賞は次の方々です。

▽小学校低学年の部△

最優秀賞 川舟小学校 二年 高橋 佳那さん
優秀賞 猿橋小学校 三年 高橋 歩夢さん

川尻小学校 二年

真藤子 妃菜さん



小学校低学年の部 最優秀賞の高橋 佳那さん

▽小学校高学年の部△
最優秀賞 湯本小学校 5年 天瀬 茜里さん

優秀賞 貝沢小学校 6年 藤原 百花さん

川舟小学校 6年 前島 風太さん

▽中学校の部△
最優秀賞 湯田中学校 1年 尾形 美優さん

優秀賞 沢内中学校 2年 深澤 佳純さん

▽高等学校の部△
最優秀賞 西和賀高校 2年 内記 陽さん

優秀賞 西和賀高校 2年 田村 知美さん

西和賀高校 2年 掃部 侑人さん

福祉まつり

平成二十一年十月二十四日大野営農センター一帯で福祉まつりが行われました。

今年度も、「西和賀農業まつり」と、「にしわが職業体験フェスティバル」とが、並行開催されたものです。

福祉まつりでは、焼き鳥やから揚げ、焼きたてパン等を九団体が模擬店で販売し、大盛況を収めました。展示部門では、町内の各保育所の園児や親子制作による作品が多数展示されました。

ステージ部門では、地元の西和賀高校吹奏楽部と、ルンビニー学園(花巻市石鳥谷町)による太鼓の演奏が行われました。どちらも迫力ある演奏で、聞いている人たちを魅了しました。



湯本保育所の園児たちの作品

西和賀ふくし運動会

今年度のふくし運動会は、平成二十一年十月二十八日沢内農業者トレーニングセンターで開催され、高齢者・障がい者及び福祉関係者が一同に集い、相互の理解と交流を深めることにより、ノーマライゼーション理念の、より一層の浸透を図ることを目的として行われました。

当日は、約二百名の方が参加され、お昼には参加者全員で豚汁を囲みながら、わきあいあいの交流の輪が広がりました。

お知らせ

社会福祉協議会で取りまとめている各ボランティア団体に登録している皆様にお知らせです。

今月いっぱい、ボランティア保険の期限が切れます。引き続き、皆様には登録をお願い致します。

詳しいことは、社会福祉協議会にお尋ねください。